

## 大野市小中学校再編計画（案）説明会開催結果概要

日 時 令和3年7月30日（金）午後7時30分～8時48分  
場 所 小山小学校体育館  
出席者 小山小学校区児童・未就学児保護者等 12名  
開成中学校長、小山小学校長、小山小学校教頭  
教育長、教育委員会事務局長、教育総務課長、学校教育審議監  
教育総務課職員2名

顛 末

①教育長あいさつ

②大野市小中学校再編計画（案）の説明（資料に基づき説明）

③質疑応答

参加者 スクールバスについて、4キロ6キロに縛られず送り届けてもらえるのはありがたいが、この維持管理費はどのようにしていくのか。何も書いていないが保護者負担となるのか。

市教委 スクールバスの運行に関する経費については、市で負担しており、保護者の方に負担いただくことはない。

参加者 学用品の負担は3年～5年生は半分出しているということであるが、全額補助についてももう一度検討していただけないかと思う。子どもが数人いて3年から5年と重なっている家庭は負担になると思う。不公平感が生まれないような配慮をして欲しい。

参加者 小学校の修学旅行で、事前に有終南小学校との交流があると書いてあるが、6年生になった4月に有終南小学校に行き6月に修学旅行だと、まだ馴染めていない状態での修学旅行になると思う。修学旅行に行く時期も検討していただきたい。

市教委 修学旅行への不安はあると思うが、それ以上に、統合前までのさまざまな事前の交流が大事になってくると思っている。令和3年度に統合した乾側小学校は、1年間という急な統合であり事前交流も1年間であったが、6回行った。最初は朝の会から2限目まで、徐々に交流を深めていき、最後には一緒に給食を食べるという形で交流を深めてきた。

令和6年度の中学校での再編を参考に、この計画の案が取れば、出来るだけ早く事前の交流をしながら、修学旅行だけでなく、さまざまな面でスムーズに学校生活が送れるようにしていきたいと思っている。修学旅行についても、事前の準備委員会等に各学校の教頭等も出てくるので、そこで修学旅行の時期等も十分に検討できると思っている。

参加者 スクールバスについて、保護者と学校が協議して運行経路を決定するという

ことであるが、今、有終南小学校に通っている飯降区の児童は、親が新庄まで送ってから集団登校しているという話を聞いている。また、篠座保育園の近くは小山小学校に通う場合とあまり歩く距離が変わらないが、恐らく通行量はすごく多くて危険ではないかと思う。もし可能であればそのようなところも検討の対象としてあげるとよいと感じている。検討の時期になった際には、協議していただければと思う。

市教委 そのようなご意見も十分に配慮させていただく。単に距離だけでなく交通量などのご意見も踏まえて、スクールバスの運行経路や運行範囲等を決めさせていただければと考える。

基本的には協議・検討させていただくが、今、再編に焦点を当ててお話をしている。その部分を掘り返していくと大野市全体でいろいろなことを整理していかなければいけない、ということになる。総合的なことを検討しなければいけないという点と、再編という点とのバランスが難しいと思っている。この部分も含めてしっかり検討していきたいと思っている。

参加者 中学校の再編時期が令和6年度、小学校が令和8年度という案であるが、その時期の決定には、その時期に児童生徒数が多く減るから、この時期に決めたなどの理由があるのか教えて欲しい。

なぜなら、小山小学校の3年生で初めて複式学級で、上の学年の児童と交流することで友達が増えて子どもが喜んでいる部分もあれば、学習内容で部屋を別にするなどの工夫がされているが上の学年の勉強の音が気になることもある。授業参観でのことだが、3年生は自主学習で、4年生は先生がついて黒板に向かっての授業であった。「こういうことをするのだよ」という風に子どもたちが授業を進めながら「分かりましたか」と応答式で授業を進めていた。自分たちで学んでいくのは良いと思う反面、算数の授業であったが、見ていると間違いがあっても、間違いのまま進んでしまったりしている。もう一人の先生がフォローしてくれているが、主の先生は4年生を見ていて、単式で見てもらっていた時とは違う面があり、良い面も見ることができたが、少し寂しいと思った。複式になることに不安があった中で、メリットよりもデメリットの方が多いということが3年の保護者の中でも話があった。

説明資料の図で来年、再来年もほとんど複式学級となっていることを見たときに、私は複式よりも同じ学年同士で学び合っていた方が良いと思う部分があるので、なぜこの時期なのかということを知りたい。

市教委 再編は2年で進めさせていただきたい。2年の意味は、1年目は地区や学校などで再編をしていく準備委員会をしっかりとやっていきたいと思っている。かなりの回数を行うことになると思われ、さまざまなことを詰めていくため1年はかかると考える。次の1年は子どもたちの交流を中心にしっかりと進めて

いきたい。交流をしながら「ここはこうだね」「もう少しこうしよう」となっていくと思う。規模の大小に関わらず、今の案では、小山小学校と有終南小学校のあくまでも1対1の学校対学校の再編だと捉えている。それから、校区も小山校区があり、その部分を一緒にするわけであり、やはり1対1であると考えている。有終南小学校での説明会では、小山小学校が来てくれることにより新しい有終南小学校の文化を作っていきたい、小山小学校の子たちのことを自分の子だと置き換えて温かく丁寧に受け入れをしたい、と言ってくれた方がいた。本当にありがたく思った。この点を考えても、やはり2年は必要であると思った。

乾側小学校は、耐震のこともあったため、早くしなければいけないということで、1年間で並行して準備と交流を行った。1年でやってできないことはないが、乾側小学校のある保護者の方が、頭ではわかるが、急に次、次、次と進んでいくため、やはり心ではついていけない部分があると、そんなふうに言っていた方もいたので、丁寧に2年間しっかりとかけてやりたいということである。

また、なぜ中学校を先に再編し、そして小学校を再編するということであるが、小学校を早くして欲しいという気持ちも分かる。それにもいくつかの理由があり、その一つは小規模校の課題が顕在化していることがある。小学校についても複式学級を早く解消しなければいけないと思っている。しかし、中学校の場合には専門教科教員がそろわないという、非常に申し訳ない状況が続いているということ。そして、上庄中学校と尚徳中学校は、今まで2クラスあったが、ここ1～2年は1クラスになり、小学1年生から中学3年生までずっと1クラスで、場合によっては保育園からずっと同じということがあり、そこも解決しなければいけない。また、中学校の場合には、主たる目的ではないが、部活動も非常に大きな課題となっている。そのような意味でも、中学校を先に再編し、それが終わってから、2年間をかけて小学校という案である。今までは1校ずつの再編であったが今度は複数の再編となるため、スクールバスの問題であったり放課後のことであったり、さまざまな部分を検証して、そして小学校では支障が無いように、丁寧にやりたいと考える。一度に再編することもできるが、そうなると、かなりの無理が生じてくると思っており、このような日程を組ませていただいた。

複式学級について、初めての複式学級ということでご心配な点はよく分かる。一つの学年で、子どもたちが進めるリーダー学習ということをやっている。教員が3年生に行ったり4年生に行ったりと教員が渡りで授業をしていると言われている。授業参観の時に、子どもたちが自主的に進めている中で間違いがあったことに教師が気づかなかったという部分は、心配な点だと思っている。

3年生で初めての複式学級になったことで、そのようなことが起きたのであ

ろうとも思うが、学年を積み上げることによって、自分たちで学習を進める力が付くという点は、逆転の発想で複式の良いところでもある。また、人数が少ないので、発表の機会があり、複式学級の子どもたちの様子を見ていて、息の長い発表ができて、その点は良い点であると思っている。そして、リーダー学習という点で、教師がいなくて一人一人が学習する時に、今年度はタブレットが1人1台配布され、その点でもより複式学級での授業が、今までと違う形で効果的な授業が行われていくのだと思う。このタブレットの配置は、今、学校間を結ぶ学習ということで、阪谷小学校と小山小学校と一緒に交流をしていくという授業も行っている。校長や教頭がそのような部分に本当に力を入れて頑張っており、不安に感じる点があることは理解しているが、そのような利点もあるということ、少し長い目で見ただけだとありがたい。

ただ、やはり人数が少ないためみんなで何かをするとき、例えば音楽の時間に合唱の練習をすとか、グループに分かれて合奏しましょうという時に、3年生のグループが一つと4年生のグループが一つで二つしかないため、さまざまな発表が味わえないといったことや、体育の球技なども、人数が多い球技ができないという部分はある。そのような利点や課題はあるが、今ある現状の中で、校長、教頭、教職員は一生懸命に頑張っているのです、今回のような不安があれば遠慮なく言っていただき、学校はそれに向けてしっかりと授業の改善をしていくので、お願いしたい。

今は思い付かないことや皆さんの前ではということもあるかと思う。今後、気が付いたことや思うことがあれば、教育委員会に直接、あるいは校長や教頭など、どのようなチャンネルでもよいので伝えていただければと思う。我々もしっかりと考えていきたい。

#### ④閉会のあいさつ（事務局長）